

Mizuho Daily Market Report

2024/2/16

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	150.20	149.93	▲0.65	+0.61
EUR	1.0733	1.0772	+0.0045	▲0.0006
AUD	0.6494	0.6525	+0.0034	+0.0033
SGD	1.3474	1.3457	▲0.0027	▲0.0015
CNY	7.1936	7.1936	+0.0000	▲0.0031
MYR	4.7813	4.7825	▲0.0040	+0.0100
THB	36.17	36.18	+0.04	+0.36
IDR	15637	15620	+25	▲15
PHP	56.02	56.04	▲0.08	+0.12
INR	83.03	83.04	+0.02	+0.09
VND	24445	24463	+38	+37

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.230%	▲2.5 bp	+7.6 bp
日本(10年)	0.731%	▲2.2 bp	+2.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.359%	+2.2 bp	+0.5 bp
オーストラリア(5年)	3.770%	▲13.2 bp	+5.3 bp
シンガポール(5年)	2.988%	▲6.8 bp	+10.6 bp
中国(5年)	2.311%	+0.0 bp	+0.0 bp
マレーシア(5年)	3.548%	▲0.8 bp	+1.5 bp
タイ(5年)	2.279%	▲1.5 bp	+0.6 bp
インドネシア(5年)	6.527%	+0.9 bp	+0.7 bp
フィリピン(5年)	6.014%	▲0.3 bp	▲0.4 bp
インド(5年)	7.089%	▲2.2 bp	+3.1 bp
ベトナム(5年)	1.440%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,773.12	+0.9%	+0.1%
N225(日本)	38,157.94	+1.2%	+3.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,743.17	+0.7%	+0.7%
ASX(オーストラリア)	4,149.98	+0.4%	+0.0%
FTSE1(シンガポール)	3,176.69	+1.2%	+1.1%
SSEC(中国)	2,865.90	+0.0%	+0.0%
SENSEX(インド)	72,050.38	+0.3%	+0.9%
JKSE(インドネシア)	7,303.28	+1.3%	+0.9%
KLSE(マレーシア)	1,528.38	▲0.1%	+1.1%
PSE(フィリピン)	6,882.15	+0.4%	+0.5%
SETI(タイ)	1,387.27	+0.2%	▲0.1%
VNIINDEX(ベトナム)	1,202.50	+0.3%	+0.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	271.28	+0.4%	▲0.8%
金	2,004.40	+0.6%	▲1.5%
原油(WTI)	78.03	+1.8%	+2.4%
銅	8,097.00	+0.0%	+0.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	149.50	—	151.00
EUR/USD	1.0680	—	1.0800
AUD/USD	0.6400	—	0.6620
USD/SGD	1.3390	—	1.3590
USD/CNY	7.1700	—	7.2100
USD/INR	4.7120	—	4.8000
USD/THB	35.00	—	36.40
USD/IDR	15570	—	15850
USD/PHP	55.70	—	56.60
USD/INR	82.70	—	83.60
USD/VND	24,300	—	24,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

2023年10-12月期の本邦GDP速報値が市場予想を下回り、2四半期連続でマイナスとなるとドル円は一時円売りで反応。その後、アジア時間のドル円は150円台半ばでオープン。米金利が下落する流れにドル円も上値重く推移し、引けにかけて150円台前半まで下押しした。アジア通貨は全般的に上昇。米金利低下を受けたドル売りの流れの中、アジア通貨は買われる展開となった。インドネシアは下落。前日は大統領選挙においてプラボウォ国防相が過半数を獲得し1回目の投票で勝利を決める見通しとなり、現職のジョコ大統領の政策が継続するとの見方から上昇したが、この日は反落に転じた。

海外市場のドル円は150円台前半でNYオープン。NY朝方に発表された米1月小売売上高ヘッドライン(前月比)と米失業保険継続受給者数が予想より悪化し、瞬時に149円台半ばまで売られるも、その後直ぐに149円台後半まで反発。続いて発表された米1月鉱工業生産も予想より弱い結果となるものの、影響は限定的。その後、米金利が上昇する展開に買戻しの流れとなり、150円台前半まで上昇。その後は米金利における上昇一服を受け、ドル円も小幅に下落し149円台後半でクロス。

【金利】

金利市場は長期ゾーンはほぼハラルで小幅低下。NY朝方には多くの重要指標発表があり、1月小売売上高および新規失業保険申請件数は予想比弱めの数字となったことで、今週に早期利下げ予想が大きく後退したことに反転の動きが見られ、ニューヨーク明けから債券売りが強まった。売り一巡後は買い戻されたが、前日終値比はマイナスで終了。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。昨日公表された米1月小売売上高が市場予想を下回ったことを受け米金利低下、ドル売りの流れとはなったもののドル円の下落幅はさほど大きくはならず本朝方には150円台を回復。利下げ観測が後ろ倒しとなる中、下落局面では相応の買い意欲が見られることも想定され下げ止まる展開を予想する。

【本日の予定】

- (日本) 12月 コア機械受注
- (日本) 1月 東京地区百貨店売上高 / 全国百貨店売上高
- (日本) 1月 貿易収支
- (日本) 国債入札(5Y)
- (アジア) 1月 中国 SWIFT グローバル支払 CNY
- (アジア) 1月 中国 新築住宅価格
- (アジア) 1月 豪 RBA FX取引市場
- (アジア) 1月 豪 雇用統計
- (アジア) 2月 豪 消費者インフレ期待
- (アジア) インドネシア 金融政策会合
- (アジア) フィリピン 金融政策会合
- (欧州) 第73回ベルリン国際映画祭開幕
- (米国) 12月 ネット長期TICフロー / ネットTICフロー合計
- (米国) 1月 PPI / 住宅着工件数
- (米国) 1月 建設許可件数 / 住宅建設許可 / 住宅着工件数
- (米国) 2月 フィラデルフィア連銀景況
- (米国) TIPS入札(30Y)
- (米国) プラド・セントイス連銀総裁講演
- (米国) マスター・クリーブランド連銀総裁講演
- (米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。